

環境経営レポート

2017年度(2017年1月～2017年12月)

2018年 2月

株式会社 **吉銘**



— 目 次 —

1. 環境方針	P. 1
2. 事業活動の概要	P. 2
3. 環境目標	P. 3
4. 環境活動の実績と評価	
4-1. 全社	P. 4
4-2. サイト別	P. 5
5. サイト別の環境への取組状況および環境活動計画の内容と評価	
5-1. 本社・新住工場の活動内容	P. 6
5-2. 田原本工場の活動内容	P. 7
5-3. 五條工場の活動内容	P. 8
5-4. 児玉工場の活動内容	P. 9
5-5. 特販部の活動内容	P. 10
5-6. 札幌支店の活動内容	P. 11
5-7. 福岡営業所の活動内容	P. 12
6. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無	P. 13
7. 代表者による全体評価と見直しの結果	P. 13

1. 環境方針

< 環境経営理念 >

「大自然に感謝して、少しでも恩返しを」

< 行動指針 >

1. 大自然から受けた恩恵である木材を人間の知恵をもって最大限に余すことなく有効に利用し〈木を活かす企業〉として循環型の住みよい環境の実現を目指します。
2. 環境汚染を未然に防止すると共に、環境経営システムと環境パフォーマンスを自主的・継続的に改善できるように推進します。
 - ・二酸化炭素排出量の削減
 - ・廃棄物排出量の削減
 - ・総排水量の削減
 - ・化学物質の適正使用について維持管理
 - ・グリーン購入の推進
 - ・環境に配慮した原材料の使用を推進
3. 環境教育・訓練・社内広報活動の実施により、全ての従業員に環境方針を周知徹底すると共に、環境保全に関する知識・認識の向上を図ります。
4. 環境関連法令と当社が参加した協定等を遵守し、必要に応じて環境管理レベルの向上を図ります。

この環境方針は、社外の人にも公開します。

制定日 2005年 5月21日

改定日 2011年 3月 1日

株式会社 吉銘

代表取締役社長 貝本 隆三

2. 事業活動の概要

①事業所名および代表者名

株式会社 吉銘 代表取締役社長 貝本 隆三

②所在地

本社・新住工場 奈良県吉野郡下市町大字新住1118
 田原本工場 奈良県磯城郡田原本町大字味間436
 五條工場 奈良県五條市島野町485番地
 特販部 奈良県橿原市新賀町318番地の6
 札幌支店 北海道札幌市北区新琴似8条2丁目1-11 上島ビル203号
 福岡営業所 福岡県福岡市東区多ノ津1-18-15
 児玉工場 埼玉県本庄市児玉町元田264-1(2017年1月より拡大)

③環境保全関係の責任者および担当者連絡先

環境経営責任者 代表取締役社長 貝本 隆三
 EA管理責任者 神谷 拓信
 連絡先 TEL : 0747-52-4066
 FAX : 0747-52-4797
 E-mail : hinkan@yoshimei.co.jp

④事業規模(2017年度)

資本金 7200万円
 年商 (全社) 156億円
 主要製品生産量 (3工場) 31055トン
 ・本社・新住工場:10037トン
 ・田原本工場:11548トン
 ・五條工場:4919トン
 ・児玉工場:4551トン
 従業員 (全社) 175名 (平成29年12月現在)
 (サイト別)・本社・新住工場:44名
 ・田原本工場:31名
 ・五條工場:58名
 ・児玉工場:19名
 ・その他部署:23名
 床面積
 ・本社・新住:13600m²
 ・田原本工場:5811m²
 ・五條工場:8132m²
 ・児玉工場:5018m²
 ・その他部署:1220m²

⑤事業内容

集成材の製造販売および住宅関連商品の販売

⑥沿革

昭和25年4月 貝本商店の創業
 (創業者、現取締役相談役 貝本 輝司)
 昭和28年4月 業界に先駆け集成材の製造販売開始(当社 元祖)
 昭和40年4月 吉野銘木製造販売(株)に法人組織化
 昭和45年1月 貝本木材工業(株)を新たに設立(株吉銘の前身)
 昭和50年6月 (株吉銘)に社名変更
 昭和52年7月 本사를 橿原市に新築移転
 昭和52年9月 (株吉銘)福山を設立
 昭和55年9月 山陰営業所の開設
 昭和58年8月 福岡営業所の開設
 昭和58年9月 吉野郡大淀町に佐名伝工場を新設
 昭和59年10月 岡山営業所の開設
 昭和61年4月 吉野銘木製造販売(株)の集成材工場を製造部門として合併
 昭和62年3月 東京支店の開設
 平成 2年3月 資本金7200万円に増資
 平成 5年9月 全自動別注造材プレカットライン完成
 平成 6年2月 五條工場新設
 平成 6年9月 札幌営業所開設
 平成 7年2月 (株)東日本ウッドワークス中部設立
 平成 9年1月 桜井工場新設
 平成12年6月 ISO9002認証取得
 平成14年4月 田原本工場新設
 平成15年3月 貝本木業(上海)有限公司設立
 平成15年4月 ISO9001取得
 平成16年10月 本사를 下市町新住に移転、製造部門と統合
 平成18年3月 本社(管理本部・新住工場)でエコアクション21の認証を取得
 平成20年3月 一部認証範囲を拡大(田原本工場および五條工場を追加)
 平成25年4月 認証範囲を全社に拡大
 平成26年9月 児玉工場を開設
 平成28年4月 児玉工場を認証範囲に追加

3. 環境目標

項目	全社合計				①本社・新住工場				②田原本工場				③五條工場			
	2016年 基準	2017年 (48期)	2018年 (49期)	2019年 (50期)	2016年 基準	2017年 (48期)	2018年 (49期)	2019年 (50期)	2016年 基準	2017年 (48期)	2018年 (49期)	2019年 (50期)	2016年 基準	2017年 (48期)	2018年 (49期)	2019年 (50期)
二酸化炭素排出量 (kg-CO2/年)	1,819,164	1,803,727	1,804,816	1,805,705	615,885	603,567	591,250	578,932	547,056	536,115	525,174	514,233	406,533	398,402	390,272	382,141
	—	0.8% 削減	-0.1% 削減	0.0% 削減	—	2.0% 削減	4.0% 削減	6.0% 削減	—	2.0% 削減	4.0% 削減	6.0% 削減	—	2.0% 削減	4.0% 削減	6.0% 削減
廃棄物排出量 (トン/年)	63.70	63.43	63.59	63.74	17.70	17.35	16.99	16.64	32.79	32.13	31.15	30.17	5.06	5.01	4.96	4.91
	—	0.5% 削減	0.2% 削減	0.0% 削減	—	2.0% 削減	4.0% 削減	6.0% 削減	—	2.0% 削減	5.0% 削減	8.0% 削減	—	1.0% 削減	2.0% 削減	3.0% 削減
総排水量 (m3/年)	9,369	9,068	8,991	8,914	2,999	2,969	2,939	2,909	2,265	2,242	2,220	2,197	3,516	3,446	3,375	3,305
	—	3.2% 削減	4.0% 削減	4.9% 削減	—	1.0% 削減	2.0% 削減	3.0% 削減	—	1.0% 削減	2.0% 削減	3.0% 削減	—	2.0% 削減	4.0% 削減	6.0% 削減
化学物質使用量 (t/t)	—	生産量あたりの接着剤の 使用量を維持			—	生産量あたりの接着剤の 使用量を維持			—	生産量あたりの接着剤の 使用量を維持			—	生産量あたりの接着剤の 使用量を維持		
グリーン購入 (件/年)	—	28件以上	28件以上	28件以上	—	4件以上	4件以上	4件以上	—	4件以上	4件以上	4件以上	—	4件以上	4件以上	4件以上
環境配慮製品の割合 (%)	—	化粧ばり造作用集材材の 原材料において認証材の 使用割合10%以上			—	化粧ばり造作用集材材の 原材料において認証材の 使用割合10%以上			—	—			—	—		

項目	④児玉工場				⑤特販部				⑥札幌支店				⑦福岡営業所			
	2016年 基準	2017年 (48期)	2018年 (49期)	2019年 (50期)												
二酸化炭素排出量 (kg-CO2/年)	192,230	208,757	241,810	274,663	15,505	15,350	15,195	15,040	18,021	17,841	17,661	17,480	23,934	23,695	23,455	23,216
	—	-8.6% 削減	-25.8% 削減	-42.9% 削減	—	1.0% 削減	2.0% 削減	3.0% 削減	—	1.0% 削減	2.0% 削減	3.0% 削減	—	1.0% 削減	2.0% 削減	3.0% 削減
廃棄物排出量 (トン/年)	3.66	4.66	6.05	7.64	4.00	3.96	3.92	3.88	0.24	0.24	0.24	0.23	0.29	0.28	0.27	0.27
	—	-21.7% 削減	-65.2% 削減	-108.7% 削減	—	1.0% 削減	2.0% 削減	3.0% 削減	—	1.0% 削減	2.0% 削減	3.0% 削減	—	1.0% 削減	2.0% 削減	3.0% 削減
総排水量 (m3/年)	392.00	216.00	264.00	312.00	49.00	48.51	48.02	47.53	46.00	45.54	45.08	44.62	102.00	100.98	99.96	98.94
	—	44.9% 削減	32.7% 削減	20.4% 削減	—	1.0% 削減	2.0% 削減	3.0% 削減	—	1.0% 削減	2.0% 削減	3.0% 削減	—	1.0% 削減	2.0% 削減	3.0% 削減
化学物質使用量 (t/t)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
グリーン購入 (件/年)	—	4件以上	4件以上	4件以上												
環境配慮製品の割合 (%)	—	—			—	—			—	—			—	—		

※二酸化炭素排出量算定の排出係数：購入電力 2011年まで0.378(kg-CO2/kWh)を使用。2012年から関西電力0.45(kg-CO2/kWh) 東京電力0.464(kg-CO2/kWh) 北海道電力0.485(kg-CO2/kWh) 九州電力0.525(kg-CO2/kWh)を使用する。

4. 環境活動の実績と評価

4-1. 全社

2017年度		2016年	2017年									評価		
		全社合計	目標	本社・新住工場	田原本工場	五條工場	児玉工場	特販部	札幌支店	福岡営業所	全社実績			
二酸化炭素 排出量	総量(kg-CO2/年)	1,819,164	基準年 対比 0.8%	597,265	576,813	324,709	195,638	6,859	16,512	19,841	1,737,636	目標達成	◎	
	内訳	購入電力(kg-CO2/年)		1,612,546	582,602	544,688	268,127	183,294	4,990	5,520	5,333			1,594,554
		化石燃料(kg-CO2/年)		206,618	14,663	32,125	56,582	12,344	1,869	10,992	14,508			143,082
		基準に対する削減率(%)		-	-	-	-	-	-	-	-			4.5%
		生産量(販売量)(トン)		57,513	10,037	11,548	4,919	4,551	6,145	14,154	10,455			61,808
		生産量当たり(kg-CO2/トン)		32	59.5	49.9	66.0	43.0	1.1	1.2	1.9			28.1
		基準に対する削減率(%)		-	-	-	-	-	-	-	-			11.1%
廃棄物排出 量	総量(トン/年)	63.70	基準年 対比 0.5%	16.8	42.7	6.5	4.9	4.0	0.5	0.3	76	総量→目標未達 生産・販売量 当たりの排出量 において →目標未達	×	
		基準に対する削減率(%)		-	-	-	-	-	-	-	-			-19.0%
		生産量(販売量)(トン)		57,513	10,037	11,548	4,919	4,551	6,145	14,154	10,455			61,808
		生産量当たり		0.0011	0.0017	0.0037	0.0013	0.0011	0.0007	0.0000	0.0000			0.0012
		基準に対する削減率(%)		-	-	-	-	-	-	-	-			-10.8%
総排水量	総量(m3/年)	9,369	基準年 対比 3.2%	2,653	2,531	2,942	700	50	51	82	9,009	目標達成	◎	
		基準に対する削減率(%)		-	-	-	-	-	-	-	-			3.8%
		生産量(販売量)(トン)		57,513	10,037	11,548	4,919	4,551	6,145	14,154	10,455			61,808
		生産量当たり(m3/トン)		0.163	0.264	0.219	0.598	0.154	0.008	0.004	0.008			0.146
		基準に対する削減率(%)		-	-	-	-	-	-	-	-			10.5%
化学物質	総量(トン/年)	304	生産量あたり の接着剤の使用 量を維持	7	244	45	0	0	0	0	295	生産量当たり使用量が基準 年を維持	◎	
	3工場生産量(トン)(ペレットを除く)	25,100		10,037	11,548	4,919	-	-	-	-	-			26,503
	生産量当たり使用量(t/t)	0.012		0.001	0.021	0.009	-	-	-	-	-			0.011
グリーン購入	件数(件/年)	21件	28件	4	4	4	4	4	4	4	28	目標達成	◎	
環境配慮製品	化粧ばり造作用集成材用の 認証材総量(m3/年)	247	化粧ばり造作用 集成材の原 材料において 認証材の使用 割合10%以 上	175	-	-	-	-	-	-	175	目標達成	◎	
	化粧ばり造作用集成材用の 原材料総量(m3/年)	805		700	-	-	-	-	-	-	700			
	認証材使用割合(%)	30.6%		25.0%	-	-	-	-	-	-	-			25.0%

※二酸化炭素排出量算定の排出係数：

購入電力 2011年まで0.378(kg-CO2/kWh) 2012年から関西電力0.45(kg-CO2/kWh) 東京電力0.464(kg-CO2/kWh) 北海道電力0.485(kg-CO2/kWh) 九州電力0.525(kg-CO3/kWh)

※活動の評価基準：◎総量、生産量当たり共に目標達成 ○総量、生産量当たりどちらかで目標達成 ×総量、生産量当たり共に目標未達

【総括】

全社取組において廃棄物排出量を除いて目標達成ができました。

二酸化炭素排出量については五條工場での天然乾燥推進と灯油での木材乾燥の一部を田原本工場の木屑ボイラーでの乾燥に切り替えた効果が出ています。

廃棄物については外部環境の変化のため廃プラスチックの資源化が出来なくなり排出量が目標未達となりました。

現在、廃プラスチックの資源化メーカーを探すと共に、輸入木材のビニル梱包をなくせいか、またはサプライヤーに梱包材の材質を変える交渉を行い廃棄物削減に努めています。

4. 環境活動の実績と評価

4-2. サイト別

2017年度	本社・新住工場				田原本工場				五條工場				児玉工場							
	2016年(47期)		2017年		評価	2016年(47期)		2017年		評価	2016年(47期)		2017年		評価	2016年(47期)		2017年		評価
	目標	実績	目標	実績		目標	実績	目標	実績		目標	実績	目標	実績		目標	実績			
二酸化炭素排出量 (電力+化石燃料)	総量(kg-CO2/年)	615,885	597,265	目標達成	◎	547,056	576,813	目標未達	×	406,533	324,709	目標達成	◎	192,230	196,269	目標達成	◎			
	基準に対する削減率(%)	2.0%	3.0%			2.0%	-5.4%			2.0%	20.1%			-8.6%	-2.1%					
	生産量(トン)	8,746	10,037			10,991	11,548			5,363	4,919			3,733	4,551					
	生産量当たり(kg-CO2/トン)	70.4	59.5			49.8	49.9			75.8	66.0			51.5	43.1					
	基準に対する削減率(%)		15.5%				-0.4%				12.9%				16.3%					
廃棄物排出量	総量(トン/年)	17.7	16.8	目標達成	◎	32.79	42.7	目標未達	×	5.06	6.5	目標未達	×	3.66	4.9	総量において、 目標未達 生産量当りに 目標達成	○			
	基準に対する削減率(%)	2.0%	4.9%			2.0%	-30.3%			1.0%	-28.7%			-21.7%	-34.2%					
	生産量(トン)	8,746	10,037			10,991	11,548			5,363	4,919			3,733	4,551					
	生産量当たり	0.0020	0.0017			0.0030	0.0037			0.0009	0.0013			0.0010	0.0011					
	基準に対する削減率(%)		17.1%				-24.0%				-40.3%				-10.0%					
総排水量	総量(m3/年)	2,999	2,653	目標達成	◎	2,265	2,531	目標未達	×	3,516	2,942	目標達成	◎	392	700	目標未達	×			
	基準に対する削減率(%)	1.0%	11.5%			1.0%	-11.7%			2.0%	16.3%			44.9%	-78.6%					
	生産量(トン)	8,746	10,037			10,991	11,548			5,363	4,919			3,733	4,551					
	生産量当たり(m3/トン)	0.343	0.264			0.206	0.219			0.656	0.598			0.105	0.154					
	基準に対する削減率(%)		22.9%				-6.4%				8.8%				-46.5%					
化学物質	総量(トン/年)	8	7	目標達成	◎	249	244	目標達成	◎	41	45	目標未達	×	-	-	-	-			
	3工場生産量(トン/年)	8,746	10,037			10,991	11,548			5,363	4,919			-	-					
	生産量あたり使用量(t/t)	0.001	0.001			0.023	0.021			0.0077	0.009			-	-					
グリーン購入	件数(件/年)		4件	4件	目標達成	◎		4件	4件	目標達成	◎		4件	4件	目標達成	◎				
	環境配慮製品	化粧ばり造作用集材用の 認証材総量(トン/年)	175		目標達成	◎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
環境配慮製品	化粧ばり造作用集材用の 原材料総量(トン/年)	700				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	認証材使用割合(%)	25.0%				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			

2017年度	特販部				札幌支店				福岡営業所									
	2016年(47期)		2017年		評価	2016年(47期)		2017年		評価	2016年(47期)		2017年		評価			
	目標	実績	目標	実績		目標	実績	目標	実績									
二酸化炭素排出量 (電力+化石燃料)	総量(kg-CO2/年)	15,505	6,859	目標達成	◎	18,021	16,513	総量において、 目標達成 生産量当りに 目標未達	○	23,934	19,841	目標達成	◎					
	基準に対する削減率(%)	1.0%	55.8%			1.0%	8.4%			1.0%	17.1%							
	販売量(トン)	3,260	6,145			15,908	14,154			9,512	10,455							
	生産量当たり(kg-CO2/トン)	4.8	1.1			1.1	1.2			2.5	1.9							
	基準に対する削減率(%)		76.5%				-3.0%				24.7%							
廃棄物排出量	総量(トン/年)	4.0	4.0	総量において、 目標未達 生産量当りに 目標達成	○	0.2	0.5	目標未達	×	0.3	0.3	総量において、 目標未達 生産量当りに 目標達成	○					
	基準に対する削減率(%)	1.0%	0.0%			1.0%	-120.8%			1.0%	-13.8%							
	販売量(トン)	3,260	6,145			15,908	14,154			9,512	10,455							
	生産量当たり	0.0012	0.0007			0.0000	0.0000			0.0001	0.0000							
	基準に対する削減率(%)		46.9%				-148.2%				71.2%							
総排水量	総量(m3/年)	49	50	総量において、 目標未達 生産量当りに 目標達成	○	46	51	目標未達	×	102	82	目標達成	◎					
	基準に対する削減率(%)	1.0%	-2.0%			1.0%	-10.9%			1.0%	19.6%							
	販売量(トン)	3,260	6,145			15,908	14,154			9,512	10,455							
	生産量当たり(m3/トン)	0.015	0.008			0.003	0.004			0.011	0.008							
	基準に対する削減率(%)		45.9%				-24.6%				28.7%							
化学物質	総量(トン/年)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
	生産量(トン/年)	-	-			-	-			-	-							
	生産量あたり使用量(t/t)	-	-			-	-			-	-							
グリーン購入	件数(件/年)		4件	4件	目標達成	◎		4件	4件	目標達成	◎		4件	4件	目標達成	◎		
	環境配慮製品	化粧ばり造作用集材用の 認証材総量(トン/年)	-				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
環境配慮製品	化粧ばり造作用集材用の 原材料総量(トン/年)	-				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	認証材使用割合(%)	-				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		

5. サイト別の環境への取組状況および環境活動計画の内容と評価

5-1. 本社・新住工場

		PLAN	DO	CHECK	ACTION																																				
二酸化炭素排出量削減	購入電力削減	<p>○生産性向上による購入電力の削減を図る</p> <p>※本社・新住工場では二酸化炭素排出量における購入電力の割合が高く、購入電力の削減が最も大きな課題である。</p>	<p>○多品種少量生産に対応すべく切替時間の短縮を図る。</p> <p>○工場の照明の一部に省エネ照明を導入</p>	<p>削減目標 2.0% 活動の評価 ○</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目(単位)</th> <th>2016年(47期)</th> <th>2017年(48期)</th> <th>削減率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>購入電力(kWh)</td> <td>1,306,747</td> <td>1,294,667</td> <td>0.9%</td> </tr> <tr> <td>二酸化炭素排出量(kg-CO2)</td> <td>588,036</td> <td>582,602</td> <td>0.9%</td> </tr> <tr> <td>生産量(t)</td> <td>8,746</td> <td>10,037</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>二酸化炭素排出量/生産量</td> <td>67.2</td> <td>58.0</td> <td>13.7%</td> </tr> </tbody> </table> <p>生産設備の効率利用の効果がでている。</p>	項目(単位)	2016年(47期)	2017年(48期)	削減率(%)	購入電力(kWh)	1,306,747	1,294,667	0.9%	二酸化炭素排出量(kg-CO2)	588,036	582,602	0.9%	生産量(t)	8,746	10,037	—	二酸化炭素排出量/生産量	67.2	58.0	13.7%	○現状活動の維持																
	項目(単位)	2016年(47期)	2017年(48期)	削減率(%)																																					
購入電力(kWh)	1,306,747	1,294,667	0.9%																																						
二酸化炭素排出量(kg-CO2)	588,036	582,602	0.9%																																						
生産量(t)	8,746	10,037	—																																						
二酸化炭素排出量/生産量	67.2	58.0	13.7%																																						
使用化石燃料削減	<p>○「エコドライブ」を推進し、アイドリングストップに努める。</p>	<p>○燃費の測定と運転手への省エネ運転の励行。</p> <p>○配送トラックを1台削減。</p>	<p>削減目標 2.0% 活動の評価 ◎</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目(単位)</th> <th>2016年(47期)</th> <th>2017年(48期)</th> <th>削減率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>二酸化炭素排出量(kg-CO2)</td> <td>27,849</td> <td>14,663</td> <td>47.3%</td> </tr> <tr> <td>生産量(t)</td> <td>8,746</td> <td>10,037</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>二酸化炭素排出量/生産量</td> <td>3.18</td> <td>1.46</td> <td>54.1%</td> </tr> </tbody> </table>	項目(単位)	2016年(47期)	2017年(48期)	削減率(%)	二酸化炭素排出量(kg-CO2)	27,849	14,663	47.3%	生産量(t)	8,746	10,037	—	二酸化炭素排出量/生産量	3.18	1.46	54.1%	○現状活動の維持																					
項目(単位)	2016年(47期)	2017年(48期)	削減率(%)																																						
二酸化炭素排出量(kg-CO2)	27,849	14,663	47.3%																																						
生産量(t)	8,746	10,037	—																																						
二酸化炭素排出量/生産量	3.18	1.46	54.1%																																						
廃棄物削減	再資源化による推進	<p>廃棄物の分別・再資源化</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ダンボール ○鉄材 ○廃プラ <p>事務所関連廃棄物の削減</p> <ul style="list-style-type: none"> ○機密文書の再資源化 	<p>○ダンボールは分別し、古紙再生業者に引取実施</p> <p>○鉄材は再生業者へ持込</p> <p>○廃プラ圧縮し、リサイクル業者に持ち込む。</p> <p>○輸入梱包材の木パレットを釘のない部分を切断し、再資源化</p> <p>○製造工程で発生する木材屑(プレナー屑等)は自社内ボイラー燃料として熱回収及び循環資源として再生利用</p> <p>○事務書類をボイラーの燃料にする。</p>	<p>削減目標 2.0% 活動の評価 ◎</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目(単位:t)</th> <th>2016年(47期)</th> <th>2017年(48期)</th> <th>削減率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事務所(紙)</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>工場(ダンボール)</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>工場(鉄)</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>廃プラ</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>工場関連(その他)</td> <td>17.7</td> <td>16.8</td> <td>5.1%</td> </tr> <tr> <td>廃棄物計</td> <td>17.7</td> <td>16.8</td> <td>5.1%</td> </tr> <tr> <td>生産量</td> <td>8,746</td> <td>10,037</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>廃棄物量/生産量</td> <td>0.0020</td> <td>0.0017</td> <td>17.3%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事務所の一般廃棄物の排出は非常に僅かの為算入していません</p>	項目(単位:t)	2016年(47期)	2017年(48期)	削減率(%)	事務所(紙)	0	0	—	工場(ダンボール)	0	0	—	工場(鉄)	0	0	—	廃プラ	0	0	—	工場関連(その他)	17.7	16.8	5.1%	廃棄物計	17.7	16.8	5.1%	生産量	8,746	10,037	—	廃棄物量/生産量	0.0020	0.0017	17.3%	○現状活動の維持
		項目(単位:t)	2016年(47期)	2017年(48期)	削減率(%)																																				
事務所(紙)	0	0	—																																						
工場(ダンボール)	0	0	—																																						
工場(鉄)	0	0	—																																						
廃プラ	0	0	—																																						
工場関連(その他)	17.7	16.8	5.1%																																						
廃棄物計	17.7	16.8	5.1%																																						
生産量	8,746	10,037	—																																						
廃棄物量/生産量	0.0020	0.0017	17.3%																																						
総削減水量	<p>○ボイラーの給水装置の改善</p> <p>○事務所節水の徹底</p>	<p>ボイラーの燃料の木屑を再利用に回し、余分な蒸気を発生させない様にする。</p>	<p>削減目標 1.0% 活動の評価 ◎</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目(単位)</th> <th>2016年(47期)</th> <th>2017年(48期)</th> <th>削減率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総排水量(m3)</td> <td>2,999</td> <td>2,653</td> <td>11.5%</td> </tr> <tr> <td>生産量(t)</td> <td>8,746</td> <td>10,037</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>生産量当たり使用量(m3/t)</td> <td>0.343</td> <td>0.264</td> <td>22.9%</td> </tr> </tbody> </table>	項目(単位)	2016年(47期)	2017年(48期)	削減率(%)	総排水量(m3)	2,999	2,653	11.5%	生産量(t)	8,746	10,037	—	生産量当たり使用量(m3/t)	0.343	0.264	22.9%	○現状活動の維持																					
項目(単位)	2016年(47期)	2017年(48期)	削減率(%)																																						
総排水量(m3)	2,999	2,653	11.5%																																						
生産量(t)	8,746	10,037	—																																						
生産量当たり使用量(m3/t)	0.343	0.264	22.9%																																						
化学物質	<p>○接着剤の使用量を把握し、生産量あたりの接着剤の使用量を維持する</p>	<p>毎月の接着剤の購入量と在庫を管理</p>	<p>生産量あたりの接着剤の使用量を維持する</p> <p>活動の評価 ◎</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目(単位)</th> <th>2016年(47期)</th> <th>2017年(48期)</th> <th>削減率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総量(トン/年)</td> <td>8</td> <td>7</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>生産量(トン/年)</td> <td>8,746</td> <td>10,037</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>生産量当たり使用量(t/t)</td> <td>0.001</td> <td>0.001</td> <td>23.8%</td> </tr> </tbody> </table>	項目(単位)	2016年(47期)	2017年(48期)	削減率(%)	総量(トン/年)	8	7	—	生産量(トン/年)	8,746	10,037	—	生産量当たり使用量(t/t)	0.001	0.001	23.8%	○現状活動の維持																					
項目(単位)	2016年(47期)	2017年(48期)	削減率(%)																																						
総量(トン/年)	8	7	—																																						
生産量(トン/年)	8,746	10,037	—																																						
生産量当たり使用量(t/t)	0.001	0.001	23.8%																																						
グリーン購入	<p>○環境配慮製品購入の推進</p>	<p>資材および物品購入時に環境配慮製品の購入を検討する。</p>	<p>目標 4件</p> <p>実績 4件(以上)</p> <p>活動の評価 ◎</p>	<p>○認証木材購入の継続に努める。</p> <p>○現状活動の維持</p>																																					
環境配慮製品	<p>○化粧ばり造作用集材材の原材料において認証材の使用割合10%以上</p>	<p>化粧ばり造作用集材材の原材料発注に際し認証材の購買を検討する。</p>	<p>化粧ばり造作用集材材の原材料において認証材の使用割合10%以上</p> <p>活動の評価 ◎</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目(単位)</th> <th>2016年(47期)</th> <th>2017年(48期)</th> <th>削減率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>化粧ばり造作用集材材用の認証材総量(トン/年)</td> <td>247</td> <td>175</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>化粧ばり造作用集材材用の原材料総量(トン/年)</td> <td>805</td> <td>700</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>認証材使用割合(%)</td> <td>30.7%</td> <td>25.0%</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	項目(単位)	2016年(47期)	2017年(48期)	削減率(%)	化粧ばり造作用集材材用の認証材総量(トン/年)	247	175	—	化粧ばり造作用集材材用の原材料総量(トン/年)	805	700	—	認証材使用割合(%)	30.7%	25.0%	—	○認証木材購入の継続に努める。																					
項目(単位)	2016年(47期)	2017年(48期)	削減率(%)																																						
化粧ばり造作用集材材用の認証材総量(トン/年)	247	175	—																																						
化粧ばり造作用集材材用の原材料総量(トン/年)	805	700	—																																						
認証材使用割合(%)	30.7%	25.0%	—																																						

5-2. 田原本工場

		PLAN	DO	CHECK	ACTION																																			
二酸化炭素排出量削減	購入電力削減	<ul style="list-style-type: none"> ○生産性向上による購入電力の削減を図る ○電灯の効率利用を図る ※田原本工場では二酸化炭素排出量における購入電力の割合が高く、購入電力の削減が最も大きな課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○機械の生産性を上げ、生産の効率化を図る。 ○電灯の節電を実施 	<p>削減目標 2.0% 活動の評価 ×</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目(単位)</th> <th>2016年</th> <th>2017年</th> <th rowspan="2">削減率(%)</th> </tr> <tr> <th>(47期)</th> <th>(48期)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>購入電力(kWh)</td> <td>1,157,548</td> <td>1,210,417</td> <td>-4.6%</td> </tr> <tr> <td>二酸化炭素排出量(kg-CO2)</td> <td>520,897</td> <td>544,688</td> <td>-4.6%</td> </tr> <tr> <td>生産量(t)</td> <td>10,991</td> <td>11,548</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>二酸化炭素排出量/生産量</td> <td>47.4</td> <td>47.2</td> <td>0.5%</td> </tr> </tbody> </table> <p>ペレット製造設備が稼働し、電力使用が増加</p>	項目(単位)	2016年	2017年	削減率(%)	(47期)	(48期)	購入電力(kWh)	1,157,548	1,210,417	-4.6%	二酸化炭素排出量(kg-CO2)	520,897	544,688	-4.6%	生産量(t)	10,991	11,548	-	二酸化炭素排出量/生産量	47.4	47.2	0.5%	○現状活動の維持													
	項目(単位)	2016年	2017年	削減率(%)																																				
(47期)		(48期)																																						
購入電力(kWh)	1,157,548	1,210,417	-4.6%																																					
二酸化炭素排出量(kg-CO2)	520,897	544,688	-4.6%																																					
生産量(t)	10,991	11,548	-																																					
二酸化炭素排出量/生産量	47.4	47.2	0.5%																																					
化石燃料削減	<ul style="list-style-type: none"> ○「エコドライブ」を推進し、アイドリングストップに努める。 ○省エネ運転を励行する。 ○電気式フォークリフトの採用の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ○朝礼等での啓蒙 ○フォークリフトに啓蒙表示 	<p>削減目標 2.0% 活動の評価 ×</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目(単位)</th> <th>2016年</th> <th>2017年</th> <th rowspan="2">削減率(%)</th> </tr> <tr> <th>(47期)</th> <th>(48期)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>二酸化炭素排出量(kg-CO2)</td> <td>26,159</td> <td>32,125</td> <td>-22.8%</td> </tr> <tr> <td>生産量(t)</td> <td>10,991</td> <td>11,548</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>二酸化炭素排出量/生産量</td> <td>2.38</td> <td>2.78</td> <td>-16.9%</td> </tr> </tbody> </table> <p>出荷作業が増えたため、軽油使用フォークリフトの稼働が増え排出量が増加</p>	項目(単位)	2016年	2017年	削減率(%)	(47期)	(48期)	二酸化炭素排出量(kg-CO2)	26,159	32,125	-22.8%	生産量(t)	10,991	11,548	-	二酸化炭素排出量/生産量	2.38	2.78	-16.9%	○現状活動の維持																		
項目(単位)	2016年	2017年	削減率(%)																																					
	(47期)	(48期)																																						
二酸化炭素排出量(kg-CO2)	26,159	32,125	-22.8%																																					
生産量(t)	10,991	11,548	-																																					
二酸化炭素排出量/生産量	2.38	2.78	-16.9%																																					
廃棄物削減	再資源化による推進	<ul style="list-style-type: none"> 廃棄物を分別・再資源化 <ul style="list-style-type: none"> ○鉄材 ○廃プラ 事務所関連廃棄物の削減 	<ul style="list-style-type: none"> ○ダンボールは分別し、古紙再生業者に引取実施 ○鉄材は再生業者へ持込 ○廃プラ圧縮し、リサイクル業者に持ち込む。 ○製造工程で発生する木材屑(プレナー屑等)は自社内ボイラー燃料として熱回収及び循環資源として再生利用 	<p>削減目標 2.0% 活動の評価 ×</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目(単位:t)</th> <th>2016年</th> <th>2017年</th> <th rowspan="2">削減率(%)</th> </tr> <tr> <th>(47期)</th> <th>(48期)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">廃棄物</td> <td>木材(プレナー屑)</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>工場(鉄)</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>廃プラ</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>工場関連(その他)</td> <td>32.8</td> <td>42.7</td> <td>-30.2%</td> </tr> <tr> <td>廃棄物計</td> <td>32.8</td> <td>42.7</td> <td>-30.2%</td> </tr> <tr> <td>生産量</td> <td>10,991</td> <td>11,548</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>廃棄物量/生産量</td> <td>0.0030</td> <td>0.0037</td> <td>-23.9%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事務所の一般廃棄物は工場関連(その他)に含まれています。 廃プラスチックが再利用品として販売できなくなり、産業廃棄物となり排出量が増加した。</p>	項目(単位:t)	2016年	2017年	削減率(%)	(47期)	(48期)	廃棄物	木材(プレナー屑)	0.0	0.0	-	工場(鉄)	0	0	-	廃プラ	0	0	-	工場関連(その他)	32.8	42.7	-30.2%	廃棄物計	32.8	42.7	-30.2%	生産量	10,991	11,548	-	廃棄物量/生産量	0.0030	0.0037	-23.9%	<ul style="list-style-type: none"> ○現状活動の維持 ○廃プラスチックの再利用先を探す。
	項目(単位:t)	2016年	2017年	削減率(%)																																				
(47期)		(48期)																																						
廃棄物	木材(プレナー屑)	0.0	0.0	-																																				
	工場(鉄)	0	0	-																																				
	廃プラ	0	0	-																																				
	工場関連(その他)	32.8	42.7	-30.2%																																				
廃棄物計	32.8	42.7	-30.2%																																					
生産量	10,991	11,548	-																																					
廃棄物量/生産量	0.0030	0.0037	-23.9%																																					
総削減水量	<ul style="list-style-type: none"> ○人工乾燥作業の生産性向上 ○事務所節水の徹底 	<ul style="list-style-type: none"> ○夏・冬で蒸気配管バルブの開閉を見直し実施 ○ボイラーの運転時間を夏・冬で見直し実施 ○人工乾燥に使用していた蒸気をボイラーの給水タンクにもどす 	<p>削減目標 1.0% 活動の評価 ×</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目(単位)</th> <th>2016年</th> <th>2017年</th> <th rowspan="2">削減率(%)</th> </tr> <tr> <th>(47期)</th> <th>(48期)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総排水量(m³)</td> <td>2,265</td> <td>2,531</td> <td>-11.7%</td> </tr> <tr> <td>生産量(t)</td> <td>10,991</td> <td>11,548</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>総排水量/生産量(m³/t)</td> <td>0.206</td> <td>0.219</td> <td>-6.4%</td> </tr> </tbody> </table> <p>五條工場からの貫乾燥を受けて木材乾燥機の使用が増えたため増加</p>	項目(単位)	2016年	2017年	削減率(%)	(47期)	(48期)	総排水量(m ³)	2,265	2,531	-11.7%	生産量(t)	10,991	11,548	-	総排水量/生産量(m ³ /t)	0.206	0.219	-6.4%	○現状活動の維持																		
項目(単位)	2016年	2017年	削減率(%)																																					
	(47期)	(48期)																																						
総排水量(m ³)	2,265	2,531	-11.7%																																					
生産量(t)	10,991	11,548	-																																					
総排水量/生産量(m ³ /t)	0.206	0.219	-6.4%																																					
化学物質	○接着剤の使用量を把握し、生産量あたりの接着剤の使用量を維持する	毎月の接着剤の購入量と在庫を管理	<p>生産量あたりの接着剤の使用量を維持する 活動の評価 ◎</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目(単位)</th> <th>2016年</th> <th>2017年</th> <th rowspan="2">削減率(%)</th> </tr> <tr> <th>(47期)</th> <th>(48期)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総量(トン/年)</td> <td>249</td> <td>244</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>生産量(トン/年)</td> <td>10991</td> <td>11548</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>生産量当たり使用量(t/t)</td> <td>0.023</td> <td>0.021</td> <td>6.8%</td> </tr> </tbody> </table>	項目(単位)	2016年	2017年	削減率(%)	(47期)	(48期)	総量(トン/年)	249	244	-	生産量(トン/年)	10991	11548	-	生産量当たり使用量(t/t)	0.023	0.021	6.8%	○現状活動の維持																		
項目(単位)	2016年	2017年	削減率(%)																																					
	(47期)	(48期)																																						
総量(トン/年)	249	244	-																																					
生産量(トン/年)	10991	11548	-																																					
生産量当たり使用量(t/t)	0.023	0.021	6.8%																																					
グリーン購入	○環境配慮製品購入の推進	資材および物品購入時に環境配慮製品の購入を検討する。	<p>目標 4件 活動の評価 ◎</p> <p>実績 4件(以上)</p>	○現状活動の維持																																				
環境配慮製品	○化粧ばり造作用集成材の原材料において認証材の使用割合10%以上	該当製品の製造なし	<p>化粧ばり造作用集成材の原材料において認証材の使用割合10%以上 活動の評価 なし</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目(単位)</th> <th>2016年</th> <th>2017年</th> <th rowspan="2">削減率(%)</th> </tr> <tr> <th>(47期)</th> <th>(48期)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>化粧ばり造作用集成材用の認証材総量(トン/年)</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>化粧ばり造作用集成材用の原材料総量(トン/年)</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>認証材使用割合(%)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	項目(単位)	2016年	2017年	削減率(%)	(47期)	(48期)	化粧ばり造作用集成材用の認証材総量(トン/年)	0	0	-	化粧ばり造作用集成材用の原材料総量(トン/年)	0	0	-	認証材使用割合(%)	-	-	-	○2017年度は対象製品の生産はありませんでした。																		
項目(単位)	2016年	2017年	削減率(%)																																					
	(47期)	(48期)																																						
化粧ばり造作用集成材用の認証材総量(トン/年)	0	0	-																																					
化粧ばり造作用集成材用の原材料総量(トン/年)	0	0	-																																					
認証材使用割合(%)	-	-	-																																					

5-3. 五條工場

	PLAN	DO	CHECK	ACTION																												
二酸化炭素排出量削減	<p>購入電力</p> <p>○生産性向上による購入電力の削減を図る</p>	<p>○機械の生産性を上げ、生産の効率化を図る。</p> <p>○電灯の節電を実施</p>	<p>削減目標 2.0% 活動の評価 ○</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目(単位)</th> <th>2016年(47期)</th> <th>2017年(48期)</th> <th>削減率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>購入電力(kWh)</td> <td>656.127</td> <td>595.837</td> <td>9.2%</td> </tr> <tr> <td>二酸化炭素排出量(kg-CO2)</td> <td>295.257</td> <td>268.127</td> <td>9.2%</td> </tr> <tr> <td>生産量(t)</td> <td>5.363</td> <td>4.919</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>二酸化炭素排出量/生産量</td> <td>55.1</td> <td>54.5</td> <td>1.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>天然乾燥により、乾燥機の稼働時間が短くなった。</p>	項目(単位)	2016年(47期)	2017年(48期)	削減率(%)	購入電力(kWh)	656.127	595.837	9.2%	二酸化炭素排出量(kg-CO2)	295.257	268.127	9.2%	生産量(t)	5.363	4.919	—	二酸化炭素排出量/生産量	55.1	54.5	1.0%	<p>○各生産設備の生産性を上げることで生産量あたりの二酸化炭素排出量を削減する。</p>								
	項目(単位)	2016年(47期)	2017年(48期)	削減率(%)																												
購入電力(kWh)	656.127	595.837	9.2%																													
二酸化炭素排出量(kg-CO2)	295.257	268.127	9.2%																													
生産量(t)	5.363	4.919	—																													
二酸化炭素排出量/生産量	55.1	54.5	1.0%																													
化石燃料削減	<p>○「エコドライブ」を推進し、アイドリングストップに努める。</p> <p>○省エネ運転を励行する。</p> <p>○人工乾燥の効率化を図る。</p>	<p>○朝礼等での啓蒙</p> <p>○フォークリフトに啓蒙表示</p>	<p>削減目標 2.0% 活動の評価 ◎</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目(単位)</th> <th>2016年(47期)</th> <th>2017年(48期)</th> <th>削減率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>二酸化炭素排出量(kg-CO2)</td> <td>111.276</td> <td>56.582</td> <td>49.2%</td> </tr> <tr> <td>生産量(t)</td> <td>5.363</td> <td>4.919</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>二酸化炭素排出量/生産量</td> <td>20.75</td> <td>11.50</td> <td>44.6%</td> </tr> </tbody> </table> <p>天然乾燥により、人工乾燥に使用する灯油の量が削減できた。 田原本工場(熱源木屑ボイラー)に貫乾燥を依頼し、灯油を削減できた。</p>	項目(単位)	2016年(47期)	2017年(48期)	削減率(%)	二酸化炭素排出量(kg-CO2)	111.276	56.582	49.2%	生産量(t)	5.363	4.919	—	二酸化炭素排出量/生産量	20.75	11.50	44.6%	<p>○天然乾燥の期間を確保することで木材の水分量を少なくして人工乾燥時間を短くし灯油の使用量を削減する施策を継続する。</p>												
項目(単位)	2016年(47期)	2017年(48期)	削減率(%)																													
二酸化炭素排出量(kg-CO2)	111.276	56.582	49.2%																													
生産量(t)	5.363	4.919	—																													
二酸化炭素排出量/生産量	20.75	11.50	44.6%																													
廃棄物削減	<p>廃棄物を分別・再資源化</p> <ul style="list-style-type: none"> ○鉄材 ○廃プラ <p>事務所関連廃棄物の削減</p>	<p>○ダンボールは分別し、古紙再生業者に引取実施</p> <p>○鉄材は再生業者へ持込</p> <p>○廃プラ圧縮し、リサイクル業者に持ち込む。</p> <p>○製造工程で発生する木材屑(プレナー屑等)は自社内ボイラー燃料として熱回収及び循環資源として再生利用</p>	<p>削減目標 1.0% 活動の評価 ×</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目(単位:t)</th> <th>2016年(47期)</th> <th>2017年(48期)</th> <th>削減率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>工場(鉄)</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>廃プラ</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>工場関連(その他)</td> <td>5.06</td> <td>6.5</td> <td>-28.5%</td> </tr> <tr> <td>廃棄物計</td> <td>5.06</td> <td>6.5</td> <td>-28.5%</td> </tr> <tr> <td>生産量</td> <td>5.363</td> <td>4.919</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>廃棄物量/生産量</td> <td>0.0009</td> <td>0.0013</td> <td>-40.1%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事務所の一般廃棄物の排出は非常に僅かの為算入していません</p>	項目(単位:t)	2016年(47期)	2017年(48期)	削減率(%)	工場(鉄)	0	0	—	廃プラ	0	0	—	工場関連(その他)	5.06	6.5	-28.5%	廃棄物計	5.06	6.5	-28.5%	生産量	5.363	4.919	—	廃棄物量/生産量	0.0009	0.0013	-40.1%	<p>○現状の活動を継続する。</p>
項目(単位:t)	2016年(47期)	2017年(48期)	削減率(%)																													
工場(鉄)	0	0	—																													
廃プラ	0	0	—																													
工場関連(その他)	5.06	6.5	-28.5%																													
廃棄物計	5.06	6.5	-28.5%																													
生産量	5.363	4.919	—																													
廃棄物量/生産量	0.0009	0.0013	-40.1%																													
総削減水量	<p>○人工乾燥作業の生産性向上</p> <p>○事務所節水の徹底</p> <p>※五條工場ではラミナ(製品を構成する板)を乾燥するためのボイラーに水を使用している。 (※ラミナとは製品を構成する板材のこと)</p>	<p>○水道水使用量を毎月確認する。</p> <p>○人工乾燥の前に天然乾燥を十分することでボイラー使用水の削減する。</p> <p>○人工乾燥時の木屑焚きボイラーの蒸気を効率運用する。</p>	<p>削減目標 2.0% 活動の評価 ◎</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目(単位)</th> <th>2016年(47期)</th> <th>2017年(48期)</th> <th>削減率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総排水量(m)</td> <td>3.516</td> <td>2.942</td> <td>16.3%</td> </tr> <tr> <td>生産量(t)</td> <td>5.363</td> <td>4.919</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>総排水量/生産量(m/t)</td> <td>0.656</td> <td>0.598</td> <td>8.8%</td> </tr> </tbody> </table> <p>天然乾燥により、人工乾燥に使用する灯油の量が削減できた。 田原本工場(熱源木屑ボイラー)に貫乾燥を依頼し、灯油を削減できた。</p>	項目(単位)	2016年(47期)	2017年(48期)	削減率(%)	総排水量(m)	3.516	2.942	16.3%	生産量(t)	5.363	4.919	—	総排水量/生産量(m/t)	0.656	0.598	8.8%	<p>○人工乾燥の前に天然乾燥を十分することでボイラーの稼働時間を削減する。</p> <p>○人工乾燥時の木屑焚きボイラーの蒸気を効率運用する。</p>												
項目(単位)	2016年(47期)	2017年(48期)	削減率(%)																													
総排水量(m)	3.516	2.942	16.3%																													
生産量(t)	5.363	4.919	—																													
総排水量/生産量(m/t)	0.656	0.598	8.8%																													
化学物質	<p>○接着剤の使用量を把握し、生産量あたりの接着剤の使用量を維持する</p>	<p>毎月の接着剤の購入量と在庫を管理</p>	<p>生産量あたりの接着剤の使用量を維持する 活動の評価 ×</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目(単位)</th> <th>2016年(47期)</th> <th>2017年(48期)</th> <th>削減率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総量(トン/年)</td> <td>41.44</td> <td>44.92</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>生産量(トン/年)</td> <td>5.363</td> <td>4.919</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>生産量当たり使用量(t/t)</td> <td>0.008</td> <td>0.009</td> <td>-18.2%</td> </tr> </tbody> </table>	項目(単位)	2016年(47期)	2017年(48期)	削減率(%)	総量(トン/年)	41.44	44.92	—	生産量(トン/年)	5.363	4.919	—	生産量当たり使用量(t/t)	0.008	0.009	-18.2%	<p>○現状の運用を維持する。</p>												
項目(単位)	2016年(47期)	2017年(48期)	削減率(%)																													
総量(トン/年)	41.44	44.92	—																													
生産量(トン/年)	5.363	4.919	—																													
生産量当たり使用量(t/t)	0.008	0.009	-18.2%																													
グリーン購入	<p>○環境配慮製品購入の推進</p>	<p>資材および物品購入時に環境配慮製品の購入を検討する。</p>	<p>目標 4件</p> <p>実績 4件(以上)</p> <p>活動の評価 ◎</p>																													
環境配慮	<p>○化粧ばり造作用集材材の原材料において認証材の使用割合10%以上</p>	<p>該当製品の製造なし</p>	<p>化粧ばり造作用集材材の原材料において認証材の使用割合10%以上 活動の評価 なし</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目(単位)</th> <th>2016年(47期)</th> <th>2017年(48期)</th> <th>削減率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>化粧ばり造作用集材材用の認証材総量(トン/年)</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>化粧ばり造作用集材材用の原材料総量(トン/年)</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>認証材使用割合(%)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	項目(単位)	2016年(47期)	2017年(48期)	削減率(%)	化粧ばり造作用集材材用の認証材総量(トン/年)	0	0	—	化粧ばり造作用集材材用の原材料総量(トン/年)	0	0	—	認証材使用割合(%)	—	—	—	<p>○2017年度は対象製品の生産はありませんでした。</p>												
項目(単位)	2016年(47期)	2017年(48期)	削減率(%)																													
化粧ばり造作用集材材用の認証材総量(トン/年)	0	0	—																													
化粧ばり造作用集材材用の原材料総量(トン/年)	0	0	—																													
認証材使用割合(%)	—	—	—																													

5-4. 児玉工場

	PLAN	DO	CHECK	ACTION																												
二酸化炭素排出量削減	購入電力 ○生産性向上による 購入電力の削減を図る	○機械の生産性を上げ、生産の効率化を図る。 ○電灯の節電を実施	削減目標 -8.6% 活動の評価 ◎ <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目(単位)</th> <th>2016年 (47期)</th> <th>2017年 (48期)</th> <th>削減率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>購入電力(kWh)</td> <td>392,618</td> <td>396,389</td> <td>-1.0%</td> </tr> <tr> <td>二酸化炭素排出量(kg-CO2)</td> <td>182,175</td> <td>183,924</td> <td>-1.0%</td> </tr> <tr> <td>生産量(t)</td> <td>3,733</td> <td>4,551</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>二酸化炭素排出量/生産量</td> <td>48.8</td> <td>40.4</td> <td>17.2%</td> </tr> </tbody> </table>	項目(単位)	2016年 (47期)	2017年 (48期)	削減率 (%)	購入電力(kWh)	392,618	396,389	-1.0%	二酸化炭素排出量(kg-CO2)	182,175	183,924	-1.0%	生産量(t)	3,733	4,551	-	二酸化炭素排出量/生産量	48.8	40.4	17.2%	○現状活動の維持								
	項目(単位)	2016年 (47期)	2017年 (48期)	削減率 (%)																												
購入電力(kWh)	392,618	396,389	-1.0%																													
二酸化炭素排出量(kg-CO2)	182,175	183,924	-1.0%																													
生産量(t)	3,733	4,551	-																													
二酸化炭素排出量/生産量	48.8	40.4	17.2%																													
化石燃料削減	○「エコドライブ」を推進し、 アイドリングストップに努める。 ○省エネ運転を励行する。 ○人工乾燥の効率化を図る。	○朝礼等での啓蒙 ○フォークリフトに啓蒙表示	削減目標 -8.6% 活動の評価 ○ <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目(単位)</th> <th>2016年 (47期)</th> <th>2017年 (48期)</th> <th>削減率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>二酸化炭素排出量(kg-CO2)</td> <td>10,055</td> <td>12,344</td> <td>-22.8%</td> </tr> <tr> <td>生産量(t)</td> <td>3,733</td> <td>4,551</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>二酸化炭素排出量/生産量</td> <td>2.69</td> <td>2.71</td> <td>-0.7%</td> </tr> </tbody> </table> 生産量は減少していますが、原材料のうち生の木材の使用量が増えたため人工乾燥に用いる灯油の使用量が増加した。	項目(単位)	2016年 (47期)	2017年 (48期)	削減率 (%)	二酸化炭素排出量(kg-CO2)	10,055	12,344	-22.8%	生産量(t)	3,733	4,551	-	二酸化炭素排出量/生産量	2.69	2.71	-0.7%	○現状活動の維持												
項目(単位)	2016年 (47期)	2017年 (48期)	削減率 (%)																													
二酸化炭素排出量(kg-CO2)	10,055	12,344	-22.8%																													
生産量(t)	3,733	4,551	-																													
二酸化炭素排出量/生産量	2.69	2.71	-0.7%																													
廃棄物削減	廃棄物を分別・再資源化 ○段ボール ○ 事務所関連廃棄物の削減	○ダンボールは分別し、古紙再生業者に引取実施 ○製造工程で発生する木材屑(プレナー屑等)は 資源として利用	削減目標 -21.7% 活動の評価 ○ <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目(単位:t)</th> <th>2016年 (47期)</th> <th>2017年 (48期)</th> <th>削減率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>工場(鉄)</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>廃プラ</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>工場関連(その他)</td> <td>3.66</td> <td>4.9</td> <td>-33.9%</td> </tr> <tr> <td>廃棄物計</td> <td>3.66</td> <td>4.9</td> <td>-33.9%</td> </tr> <tr> <td>生産量</td> <td>3,733</td> <td>4,551</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>廃棄物量/生産量</td> <td>0.0010</td> <td>0.0011</td> <td>-9.8%</td> </tr> </tbody> </table> ※事務所の一般廃棄物の排出は非常に僅かの為算入していません	項目(単位:t)	2016年 (47期)	2017年 (48期)	削減率 (%)	工場(鉄)	0	0	-	廃プラ	0	0	-	工場関連(その他)	3.66	4.9	-33.9%	廃棄物計	3.66	4.9	-33.9%	生産量	3,733	4,551	-	廃棄物量/生産量	0.0010	0.0011	-9.8%	○現状の活動を継続する。
項目(単位:t)	2016年 (47期)	2017年 (48期)	削減率 (%)																													
工場(鉄)	0	0	-																													
廃プラ	0	0	-																													
工場関連(その他)	3.66	4.9	-33.9%																													
廃棄物計	3.66	4.9	-33.9%																													
生産量	3,733	4,551	-																													
廃棄物量/生産量	0.0010	0.0011	-9.8%																													
総削減水量	○事務所節水の徹底	○節水を啓蒙する	削減目標 44.9% 活動の評価 × <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目(単位)</th> <th>2016年 (47期)</th> <th>2017年 (48期)</th> <th>削減率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総排水量(m)</td> <td>392</td> <td>700</td> <td>-78.6%</td> </tr> <tr> <td>生産量(t)</td> <td>3,733</td> <td>4,551</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>総排水量/生産量(m/t)</td> <td>0.105</td> <td>0.154</td> <td>-46.5%</td> </tr> </tbody> </table> 冬場の水道管漏水のため排水量が増加した。	項目(単位)	2016年 (47期)	2017年 (48期)	削減率 (%)	総排水量(m)	392	700	-78.6%	生産量(t)	3,733	4,551	-	総排水量/生産量(m/t)	0.105	0.154	-46.5%	○現状の活動を継続する。												
項目(単位)	2016年 (47期)	2017年 (48期)	削減率 (%)																													
総排水量(m)	392	700	-78.6%																													
生産量(t)	3,733	4,551	-																													
総排水量/生産量(m/t)	0.105	0.154	-46.5%																													
化学物質	○接着剤の使用量を把握し、 生産量あたりの接着剤の使用量を維持する	毎月の接着剤の購入量と在庫を管理	生産量あたりの接着剤の 使用量を維持する 活動の評価 — <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目(単位)</th> <th>2016年 (47期)</th> <th>2017年 (48期)</th> <th>削減率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総量(トン/年)</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>生産量(トン/年)</td> <td>3,733</td> <td>4,551</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>生産量当たり使用量(t/t)</td> <td>0.000</td> <td>0.000</td> <td>#DIV/0!</td> </tr> </tbody> </table>	項目(単位)	2016年 (47期)	2017年 (48期)	削減率 (%)	総量(トン/年)	0	0	-	生産量(トン/年)	3,733	4,551	-	生産量当たり使用量(t/t)	0.000	0.000	#DIV/0!	○現状の運用を維持する。												
項目(単位)	2016年 (47期)	2017年 (48期)	削減率 (%)																													
総量(トン/年)	0	0	-																													
生産量(トン/年)	3,733	4,551	-																													
生産量当たり使用量(t/t)	0.000	0.000	#DIV/0!																													
グリーン購入	○環境配慮製品購入の推進	資材および物品購入時に環境配慮製品の 購入を検討する。	目標 4件 実績 4件(以上) 活動の評価 ◎																													
環境配慮	○化粧ばり造作用集材材の原材料に おいて認証材の使用割合10%以上	該当製品の製造なし	化粧ばり造作用集材材の原材料に おいて認証材の使用割合10%以上 活動の評価 なし <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目(単位)</th> <th>2016年 (47期)</th> <th>2017年 (48期)</th> <th>削減率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>化粧ばり造作用集材材用の 認証材総量(トン/年)</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>化粧ばり造作用集材材用の 原材料総量(トン/年)</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>認証材使用割合(%)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	項目(単位)	2016年 (47期)	2017年 (48期)	削減率 (%)	化粧ばり造作用集材材用の 認証材総量(トン/年)	0	0	-	化粧ばり造作用集材材用の 原材料総量(トン/年)	0	0	-	認証材使用割合(%)	-	-	-	○2017年度は対象製品の生産はありませんでした。												
項目(単位)	2016年 (47期)	2017年 (48期)	削減率 (%)																													
化粧ばり造作用集材材用の 認証材総量(トン/年)	0	0	-																													
化粧ばり造作用集材材用の 原材料総量(トン/年)	0	0	-																													
認証材使用割合(%)	-	-	-																													

5-5. 特販部

		PLAN	DO	CHECK	ACTION																																
二酸化炭素排出量削減	購入電力削減	○電灯の効率利用を図る	○電灯の節電を実施 ○空調温度管理を実施	削減目標 1.0% 活動の評価 ◎ <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目(単位)</th> <th>2016年 (47期)</th> <th>2017年 (48期)</th> <th>削減率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>二酸化炭素排出量(kg-CO2)</td> <td>14,083</td> <td>4,990</td> <td>64.6%</td> </tr> <tr> <td>販売量(t)</td> <td>3,260</td> <td>6,145</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>二酸化炭素排出量/販売量</td> <td>4.32</td> <td>0.81</td> <td>81.2%</td> </tr> </tbody> </table> 事務所移転により電力使用量が減少した。	項目(単位)	2016年 (47期)	2017年 (48期)	削減率 (%)	二酸化炭素排出量(kg-CO2)	14,083	4,990	64.6%	販売量(t)	3,260	6,145	—	二酸化炭素排出量/販売量	4.32	0.81	81.2%	○活動継続																
	項目(単位)	2016年 (47期)	2017年 (48期)	削減率 (%)																																	
二酸化炭素排出量(kg-CO2)	14,083	4,990	64.6%																																		
販売量(t)	3,260	6,145	—																																		
二酸化炭素排出量/販売量	4.32	0.81	81.2%																																		
使用量削減	化石燃料	○「エコドライブ」を推進し、アイドリングストップに努める。 ○省エネ運転を励行する。	○「エコドライブ」を実践 ○積み込み時アイドリングストップを実施	削減目標 1.0% 活動の評価 ○ <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目(単位)</th> <th>2016年 (47期)</th> <th>2017年 (48期)</th> <th>削減率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>二酸化炭素排出量(kg-CO2)</td> <td>1,422</td> <td>1,869</td> <td>-31.4%</td> </tr> <tr> <td>販売量(t)</td> <td>3,260</td> <td>6,145</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>二酸化炭素排出量/販売量</td> <td>0.44</td> <td>0.30</td> <td>30.3%</td> </tr> </tbody> </table>	項目(単位)	2016年 (47期)	2017年 (48期)	削減率 (%)	二酸化炭素排出量(kg-CO2)	1,422	1,869	-31.4%	販売量(t)	3,260	6,145	—	二酸化炭素排出量/販売量	0.44	0.30	30.3%	○活動継続																
項目(単位)	2016年 (47期)	2017年 (48期)	削減率 (%)																																		
二酸化炭素排出量(kg-CO2)	1,422	1,869	-31.4%																																		
販売量(t)	3,260	6,145	—																																		
二酸化炭素排出量/販売量	0.44	0.30	30.3%																																		
廃棄物削減	再資源化による推進	廃棄物を分別・再資源化 事務所関連廃棄物の削減	○ダンボールは分別し、古紙再生業者に引取実施 ○紙類はボイラーの燃料にする ○廃プラをリサイクル業者に引き取ってもらう。	削減目標 1.0% 活動の評価 ○ <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目(単位:t)</th> <th>2016年 (47期)</th> <th>2017年 (48期)</th> <th>削減率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>段ボール</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>紙類</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>廃プラ</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>4.0</td> <td>4.0</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>廃棄物計</td> <td>4.0</td> <td>4.0</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>販売量(t)</td> <td>3,260</td> <td>6,145</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>廃棄物排出量/販売量</td> <td>0.0012</td> <td>0.0007</td> <td>46.9%</td> </tr> </tbody> </table> 増加分は倉庫整理によるもので一過性です。	項目(単位:t)	2016年 (47期)	2017年 (48期)	削減率 (%)	段ボール	0.0	0.0	—	紙類	0	0	—	廃プラ	0	0	—	その他	4.0	4.0	0.0%	廃棄物計	4.0	4.0	0.0%	販売量(t)	3,260	6,145	—	廃棄物排出量/販売量	0.0012	0.0007	46.9%	○活動継続
				項目(単位:t)	2016年 (47期)	2017年 (48期)	削減率 (%)																														
段ボール	0.0	0.0	—																																		
紙類	0	0	—																																		
廃プラ	0	0	—																																		
その他	4.0	4.0	0.0%																																		
廃棄物計	4.0	4.0	0.0%																																		
販売量(t)	3,260	6,145	—																																		
廃棄物排出量/販売量	0.0012	0.0007	46.9%																																		
総削減水量		○事務所節水の徹底	○節水を啓蒙する	削減目標 1.0% 活動の評価 ○ <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目(単位)</th> <th>2016年 (47期)</th> <th>2017年 (48期)</th> <th>削減率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総排水量(m)</td> <td>49</td> <td>50</td> <td>-2.0%</td> </tr> <tr> <td>販売量(t)</td> <td>3,260</td> <td>6,145</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>総排水量/販売量</td> <td>0.015</td> <td>0.008</td> <td>45.9%</td> </tr> </tbody> </table>	項目(単位)	2016年 (47期)	2017年 (48期)	削減率 (%)	総排水量(m)	49	50	-2.0%	販売量(t)	3,260	6,145	—	総排水量/販売量	0.015	0.008	45.9%	○活動継続																
項目(単位)	2016年 (47期)	2017年 (48期)	削減率 (%)																																		
総排水量(m)	49	50	-2.0%																																		
販売量(t)	3,260	6,145	—																																		
総排水量/販売量	0.015	0.008	45.9%																																		
物化学		○接着剤の使用量を把握し、生産量あたりの接着剤の使用量を維持する		活動の評価 該当なし																																	
グリーン		○環境配慮製品購入の推進	資材および物品購入時に環境配慮製品の購入を検討する。	目標 4件 実績 4件(以上) 活動の評価 ◎	○現状の運用を継続する。																																
製品環境		○化粧品ばり造作用集成材の原材料において認証材の使用割合10%以上		活動の評価 該当なし																																	

5-6. 札幌支店

		PLAN	DO	CHECK	ACTION																															
二酸化炭素排出量削減	購入電力削減	○電灯の効率利用を図る	○電灯の節電を実施 ○空調温度管理を実施	削減目標 1.0% 活動の評価 × <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目(単位)</th> <th>2016年 (47期)</th> <th>2017年 (48期)</th> <th>削減率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>二酸化炭素排出量(kg-CO2)</td> <td>5,434</td> <td>5,520</td> <td>-1.6%</td> </tr> <tr> <td>販売量(t)</td> <td>15,908</td> <td>14,154</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>二酸化炭素排出量/販売量</td> <td>0.34</td> <td>0.39</td> <td>-14.2%</td> </tr> </tbody> </table>	項目(単位)	2016年 (47期)	2017年 (48期)	削減率 (%)	二酸化炭素排出量(kg-CO2)	5,434	5,520	-1.6%	販売量(t)	15,908	14,154	-	二酸化炭素排出量/販売量	0.34	0.39	-14.2%	○活動継続															
	項目(単位)	2016年 (47期)	2017年 (48期)	削減率 (%)																																
二酸化炭素排出量(kg-CO2)	5,434	5,520	-1.6%																																	
販売量(t)	15,908	14,154	-																																	
二酸化炭素排出量/販売量	0.34	0.39	-14.2%																																	
化石燃料削減	○「エコドライブ」を推進し、 アイドリングストップに努める。 ○省エネ運転を励行する。	○「エコドライブ」を実践	削減目標 1.0% 活動の評価 ◎ <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目(単位)</th> <th>2016年 (47期)</th> <th>2017年 (48期)</th> <th>削減率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>二酸化炭素排出量(kg-CO2)</td> <td>12,587</td> <td>10,992</td> <td>12.7%</td> </tr> <tr> <td>販売量(t)</td> <td>15,908</td> <td>14,154</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>二酸化炭素排出量/販売量</td> <td>0.79</td> <td>0.78</td> <td>1.8%</td> </tr> </tbody> </table>	項目(単位)	2016年 (47期)	2017年 (48期)	削減率 (%)	二酸化炭素排出量(kg-CO2)	12,587	10,992	12.7%	販売量(t)	15,908	14,154	-	二酸化炭素排出量/販売量	0.79	0.78	1.8%	○活動継続																
項目(単位)	2016年 (47期)	2017年 (48期)	削減率 (%)																																	
二酸化炭素排出量(kg-CO2)	12,587	10,992	12.7%																																	
販売量(t)	15,908	14,154	-																																	
二酸化炭素排出量/販売量	0.79	0.78	1.8%																																	
廃棄物削減	再資源化による推進 事務所関連廃棄物の削減	○資源ごみの分別の徹底	削減目標 1.0% 活動の評価 × <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目(単位:t)</th> <th>2016年 (47期)</th> <th>2017年 (48期)</th> <th>削減率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>段ボール</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>紙類</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>廃プラ</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0.24</td> <td>0.53</td> <td>-120.8%</td> </tr> <tr> <td>廃棄物計</td> <td>0.24</td> <td>0.53</td> <td>-120.8%</td> </tr> <tr> <td>販売量(t)</td> <td>15,908</td> <td>14,154</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>廃棄物排出量/販売量</td> <td>0.0000</td> <td>0.0000</td> <td>-148.2%</td> </tr> </tbody> </table>	項目(単位:t)	2016年 (47期)	2017年 (48期)	削減率 (%)	段ボール	0.0	0.0	-	紙類	0	0	-	廃プラ	0	0	-	その他	0.24	0.53	-120.8%	廃棄物計	0.24	0.53	-120.8%	販売量(t)	15,908	14,154	-	廃棄物排出量/販売量	0.0000	0.0000	-148.2%	○活動継続
			項目(単位:t)	2016年 (47期)	2017年 (48期)	削減率 (%)																														
段ボール	0.0	0.0	-																																	
紙類	0	0	-																																	
廃プラ	0	0	-																																	
その他	0.24	0.53	-120.8%																																	
廃棄物計	0.24	0.53	-120.8%																																	
販売量(t)	15,908	14,154	-																																	
廃棄物排出量/販売量	0.0000	0.0000	-148.2%																																	
総削減水量	○事務所節水の徹底	○節水を啓蒙する	削減目標 1.0% 活動の評価 × <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目(単位)</th> <th>2016年 (47期)</th> <th>2017年 (48期)</th> <th>削減率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総排水量(m)</td> <td>46</td> <td>51</td> <td>-10.9%</td> </tr> <tr> <td>販売量(t)</td> <td>15,908</td> <td>14,154</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>総排水量/販売量</td> <td>0.003</td> <td>0.004</td> <td>-24.6%</td> </tr> </tbody> </table>	項目(単位)	2016年 (47期)	2017年 (48期)	削減率 (%)	総排水量(m)	46	51	-10.9%	販売量(t)	15,908	14,154	-	総排水量/販売量	0.003	0.004	-24.6%	○活動継続																
項目(単位)	2016年 (47期)	2017年 (48期)	削減率 (%)																																	
総排水量(m)	46	51	-10.9%																																	
販売量(t)	15,908	14,154	-																																	
総排水量/販売量	0.003	0.004	-24.6%																																	
物化学	○接着剤の使用量を把握し、 生産量あたりの接着剤の使用量を維持する		活動の評価 該当なし																																	
グリーン	○環境配慮製品購入の推進	資材および物品購入時に環境配慮製品の購入を検討する。	目標 4件 実績 4件(以上) 活動の評価 ◎	○現状の運用を継続する。																																
製品環境	○化粧品ばり造作用集成材の原材料において認証材の使用割合10%以上		活動の評価 該当なし																																	

5-7. 福岡営業所

		PLAN	DO	CHECK	ACTION																																		
二酸化炭素排出量削減	購入電力削減	○電灯の効率利用を図る	○電灯の節電を実施 ○空調温度管理を実施	削減目標 1.0% 活動の評価 ◎ <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目(単位)</th> <th>2016年</th> <th>2017年</th> <th rowspan="2">削減率(%)</th> </tr> <tr> <th>(47期)</th> <th>(48期)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>二酸化炭素排出量(kg-CO2)</td> <td>6,664</td> <td>5,333</td> <td>20.0%</td> </tr> <tr> <td>販売量(t)</td> <td>9,512</td> <td>10,455</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>二酸化炭素排出量/販売量</td> <td>0.70</td> <td>0.51</td> <td>27.2%</td> </tr> </tbody> </table>	項目(単位)	2016年	2017年	削減率(%)	(47期)	(48期)	二酸化炭素排出量(kg-CO2)	6,664	5,333	20.0%	販売量(t)	9,512	10,455	—	二酸化炭素排出量/販売量	0.70	0.51	27.2%	○活動継続																
	項目(単位)	2016年	2017年	削減率(%)																																			
(47期)		(48期)																																					
二酸化炭素排出量(kg-CO2)	6,664	5,333	20.0%																																				
販売量(t)	9,512	10,455	—																																				
二酸化炭素排出量/販売量	0.70	0.51	27.2%																																				
使用化石燃料削減	○「エコドライブ」を推進し、アイドリングストップに努める。 ○省エネ運転を励行する。	○「エコドライブ」を実践 ○積み込み時アイドリングストップを実施	削減目標 1.0% 活動の評価 ◎ <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目(単位)</th> <th>2016年</th> <th>2017年</th> <th rowspan="2">削減率(%)</th> </tr> <tr> <th>(47期)</th> <th>(48期)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>二酸化炭素排出量(kg-CO2)</td> <td>17,270</td> <td>14,508</td> <td>16.0%</td> </tr> <tr> <td>販売量(t)</td> <td>9,512</td> <td>10,455</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>二酸化炭素排出量/販売量</td> <td>1.82</td> <td>1.39</td> <td>23.6%</td> </tr> </tbody> </table>	項目(単位)	2016年	2017年	削減率(%)	(47期)	(48期)	二酸化炭素排出量(kg-CO2)	17,270	14,508	16.0%	販売量(t)	9,512	10,455	—	二酸化炭素排出量/販売量	1.82	1.39	23.6%	○活動継続																	
項目(単位)	2016年	2017年	削減率(%)																																				
	(47期)	(48期)																																					
二酸化炭素排出量(kg-CO2)	17,270	14,508	16.0%																																				
販売量(t)	9,512	10,455	—																																				
二酸化炭素排出量/販売量	1.82	1.39	23.6%																																				
廃棄物削減	再資源化による推進 廃棄物を分別・再資源化 事務所関連廃棄物の削減	○ダンボールは分別し、古紙再生業者に引取実施 ○木屑を農家用資源に利用	削減目標 1.0% 活動の評価 ○ <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目(単位:t)</th> <th>2016年</th> <th>2017年</th> <th rowspan="2">削減率(%)</th> </tr> <tr> <th>(47期)</th> <th>(48期)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">廃棄物</td> <td>段ボール</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>紙類</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>廃プラ</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0.29</td> <td>0.33</td> <td>-15.0%</td> </tr> <tr> <td>廃棄物計</td> <td>0.29</td> <td>0.33</td> <td>-15.0%</td> </tr> <tr> <td>販売量(t)</td> <td>9,512</td> <td>10,455</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>廃棄物排出量/販売量</td> <td>0.0000</td> <td>0.0000</td> <td>-4.6%</td> </tr> </tbody> </table>	項目(単位:t)	2016年	2017年	削減率(%)	(47期)	(48期)	廃棄物	段ボール	0.0	0.0	—	紙類	0	0	—	廃プラ	0	0	—	その他	0.29	0.33	-15.0%	廃棄物計	0.29	0.33	-15.0%	販売量(t)	9,512	10,455	—	廃棄物排出量/販売量	0.0000	0.0000	-4.6%	○活動継続
			項目(単位:t)		2016年	2017年		削減率(%)																															
(47期)	(48期)																																						
廃棄物	段ボール	0.0	0.0	—																																			
	紙類	0	0	—																																			
	廃プラ	0	0	—																																			
	その他	0.29	0.33	-15.0%																																			
廃棄物計	0.29	0.33	-15.0%																																				
販売量(t)	9,512	10,455	—																																				
廃棄物排出量/販売量	0.0000	0.0000	-4.6%																																				
総削減水量	○事務所節水の徹底	○節水を啓蒙する	削減目標 1.0% 活動の評価 ◎ <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目(単位)</th> <th>2016年</th> <th>2017年</th> <th rowspan="2">削減率(%)</th> </tr> <tr> <th>(47期)</th> <th>(48期)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総排水量(m)</td> <td>102</td> <td>82</td> <td>19.6%</td> </tr> <tr> <td>販売量(t)</td> <td>9,512</td> <td>10,455</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>総排水量/販売量</td> <td>0.011</td> <td>0.008</td> <td>26.9%</td> </tr> </tbody> </table>	項目(単位)	2016年	2017年	削減率(%)	(47期)	(48期)	総排水量(m)	102	82	19.6%	販売量(t)	9,512	10,455	—	総排水量/販売量	0.011	0.008	26.9%	○活動継続																	
項目(単位)	2016年	2017年	削減率(%)																																				
	(47期)	(48期)																																					
総排水量(m)	102	82	19.6%																																				
販売量(t)	9,512	10,455	—																																				
総排水量/販売量	0.011	0.008	26.9%																																				
物化学	○接着剤の使用量を把握し、生産量あたりの接着剤の使用量を維持する		活動の評価 該当なし																																				
グリーン購入	○環境配慮製品購入の推進	資材および物品購入時に環境配慮製品の購入を検討する。	目標 4件 実績 4件(以上) 活動の評価 ◎	○現状の運用を継続する。																																			
製品環境	○化粧品ばり造作用集成材の原材料において認証材の使用割合10%以上		活動の評価 該当なし																																				

6. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

当社に関連する環境関連法規と遵守状況は次の通りです

環境関連法	主要な設備等	遵守状況			
		本社・新住工場	田原本工場	五條工場	児玉工場
大気汚染防止法	ボイラー	○	○	○	○
騒音規制法	木材加工機 コンプレッサー	○	○	○	○
振動規制法	コンプレッサー	○	○	○	○
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	産業廃棄物	○	○	○	○
消防法	木材加工品 木屑	○	○	○	△
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)	第1種指定化学物質	○	○	○	○
フロン排出抑制法	業務用エアコン	○	○	○	○
NOxPM法	トラック	○	—	—	—

○:遵守 △:申請中 —:非該当 ×:未遵守

全事業所において過去3年間、関係当局より違反の指摘はありません。

環境関連法規について自主的に見直した結果、一部申請中のものがありますがその他不備はありませんでした。

7. 代表者による全体評価と見直しの結果

CO2排出量は総量および生産量当たりで目標達成しました

廃棄物排出量は外部環境の変化があり、総量および生産量当たりで未達となりました。

総排水量は総量および生産量当たりで目標達成しました。

来期においても目標達成するよう活動を継続致します。

平成30年 2月 27日 代表取締役社長 貝本 隆三

次回の環境レポートは平成31年3月の予定です。